



令和7年度  
外国人患者受入れ  
医療コーディネーター養成研修事業

# 医療機関の 管理者向け 研修

オンライン  
開催  
(Zoom 使用)

参加費  
無料

今年度は、  
「訪日外国人の医療費設定」  
のテーマを中心に **3つの講義を実施します。**

- 本研修は、外国人患者を受入れる医療機関の管理者が自らの役割を認識し、外国人患者受入れに向けた体制づくりやリスク管理等に関する知識とスキルを習得することを目的としています。
- また、研修終了後、参加自由の **オンライン意見交換会を実施します。** 管理者同士、取組や課題について意見交換ができる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

**開催日時** 令和7年 **12月12日 金** **開催方法** (Zoom使用) **オンライン開催**

**定員** 200名(申込が定員を超える場合、事務局により選考させていただきます)

**対象者** 医療機関の管理者(幹部職員、外国人受入れ部門の長、コーディネーター管理者等)

## 研修プログラム

14:30-14:35	開会
14:35-15:10	講義 I* 訪日外国人患者の特徴を踏まえた医療費設定のポイント 国際医療福祉大学大学院 岡村 世里奈 先生
15:10-15:55	講義 II* 訪日外国人の医療費設定の基本的考え方及び事例① 国立国際医療センター 日野原 千速 先生
15:55-16:20	講義 III 訪日外国人の医療費設定の事例② 柳沢クリニック 柳沢 如樹 先生
16:20-16:30	閉会
16:30-17:00	オンライン意見交換会(参加自由)

\*講義 I 及び II には、10分間の質疑応答を含みます

令和7年度

外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修事業  
**医療機関の管理者向け研修**

参加費  
無料

オンライン  
開催  
(Zoom 使用)

申込方法 <https://cf20bdb8.form.kintoneapp.com/public/iryocoordinator-kanrishsha-kenshu-apply>  
上記申込フォームよりお申込みください



申込締切

令和7年12月3日(水)

**講師プロフィール**

**講義Ⅰ 訪日外国人患者の特徴を踏まえた医療費設定のポイント**

講師

**岡村 世里奈 先生**

国際医療福祉大学大学院  
医療通訳・国際医療マネジメント分野(医療経営管理分野兼務)  
国際医療福祉大学医療マネジメント学科 准教授

上智大法学部卒業。上智大大学院法律学研究科博士課程前期修了後、国際医療福祉大医療経営管理学科助手、The Beazley Institute for Health Law and Policy, School of Law, Loyola University of Chicagoの客員研究員等を経て現職。2010年頃から、厚生労働省研究班の国際医療交流事業の基礎研究をはじめ、国内外の国際医療交流事業研究に携わる。

**講義Ⅱ 訪日外国人の医療費設定の基本的考え方及び事例①**

講師

**日野原 千速 先生**

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター  
国際診療部 部長

2001年佐賀医科大学卒業後、研修医として国立国際医療研究センターに入職し、外科、緩和ケア科を経て、2021年より国際診療部に所属、2024年より現職。その間、国立奄美療養所、国立国際医療研究センター・国府台病院でも勤める。医療通訳養成研修にも携わり、これまで講師、ロールプレイ演習のオブザーバー、ロールプレイ集の執筆、編集を行った。また、厚生労働省や東京都の外国人診療に関する協議会の委員を努めている。がん教育においては外部講師として小学校・中学校、高等学校での授業にも携わっている。私生活ではカナダで幼少期を過ごし、イギリスでは主夫生活を過ごした。

**講義Ⅲ 訪日外国人の医療費設定の事例②**

講師

**柳沢 如樹 先生**

柳沢クリニック 院長

2003年に千葉大学医学部を卒業後、東京都立駒込病院にて内科臨床研修を修了。その後、アメリカ・ワシントン大学感染症科で短期臨床研修を行い、がん・感染症センター都立駒込病院感染症科にて感染症科医長および院内感染対策室長を歴任。2016~2018年ハーバード公衆衛生大学院、2018~2019年国立国際医療研究センター国際医療協力局を経て、2019年より現職。幼少期に約10年間、父親の仕事でアメリカ・ボストンに滞在。

外国人患者対応の  
院内体制整備に  
不安を感じて  
いませんか?

**管理者研修が外国人患者受入れ実務に  
役立った / と回答した受講者多数!**



院内の体制整備の課題や改善策を客観的に考える上で参考になった



病院自体が外国人患者対応に不慣れのため、今後の対策を考える時に  
役立つ情報が多かった



院内で通訳利用の必要性を伝える際の根拠として説明するのに役立った

**お問合せ先**

**厚生労働省委託事業者 運営事務局 有限責任監査法人トーマツ**  
**iryocoordinator@tohmatsu.co.jp TEL:070-3868-5655**